

推薦依頼のあった事案等について

1 推薦依頼案件平成13年第1号

(事案の概要)

原審原告らの子(当時12歳)が腹痛を訴えた翌日に病院で急性胃腸炎との診断を受けたところ、腹痛が続き、翌朝被告病院で虫垂炎と診断され虫垂切除手術を受けたが、手術直後にショック状態に陥り、一旦回復した後敗血症で死亡するに至った事案。

(主な意見)

日本小児外科学会と日本救急医学会も考えられるが、外科的治療の結果が問題となっている点からすれば、日本外科学会が適当である。

(推薦依頼の対象とする学会)

日本外科学会

2 推薦依頼案件平成13年第2号

(事案の概要)

左乳房のしこりを訴えた控訴人が、被控訴人開設の病院で乳ガンの診断の下に左乳房全切除手術を受けた事案。控訴人は、担当医師が乳ガンではないのに乳ガンと誤診した上、温存療法を希望する控訴人に対し、必要な説明を尽くさず全切除手術を行ったと主張している。

(推薦依頼の対象とする学会)

日本乳癌学会

3 推薦依頼案件平成13年第3号

(事案の概要)

急性腎不全、汎血管内凝固症候群の診断で入院した高齢患者(78歳)が、成人呼吸窮迫症候群を併発し、血小板、濃厚赤血球の補充療法等を受けたが、発熱のためインダシン坐薬が投与され、背部痛及び胸痛の訴えでニトロペンが投与され、死亡するに至った事案。

(推薦依頼の対象とする学会)

日本老年医学会

4 推薦依頼案件平成13年第4号

(事案の概要)

原告が、被告設置の病院で、腹腔鏡を用いた胆のう摘出手術を受けた事案。原告は、総胆管の切断及び総胆管と空腸の吻合時の空腸のトライツ靱帯から肛側10センチメートルでの切断という術者の過誤で、腹部激痛に悩まされることになったと主張している。

(推薦依頼の対象とする学会)

日本内視鏡外科学会

5 推薦依頼案件平成13年第5号

(事案の概要)

被告開設の病院で出産のために治療を受けた原告1への分娩過程での処置の過誤のため、胎児及び新生児が低酸素状態に陥り、また、出生後の原告2への処置の過誤のため、

原告2が低血糖状態となり、回復不可能な脳障害を負ったとされる事案。

(推薦依頼の対象とする学会)

日本新生児学会

6 推薦依頼案件平成13年第6号

(事案の概要)

被告設置の病院に顔面痙攣で通院する原告が微小血管減圧術を受けたが、左耳難聴及び平衡障害の後遺症が生じたとする事案。原告は、テフロン綿固定のためのバイオバンド使用、バイオバンドの蝸牛前庭神経への付着及びバイオバンド使用時の乱暴な圧排等が原因であると主張している。

(推薦依頼の対象とする学会)

日本脳神経外科学会